

科目名	授業時数	教科書名	副教材名
中学1年 音楽	1	中学生の音楽1 器楽(教育芸術社)	Joyful Songs (新学社)

1. 授業の目標

- ・実技・歌唱・鑑賞を通して「芸術としての音楽」を学習します。
- ・歌唱や器楽などの自己表現力の育成や、鑑賞などによってその美しさを感じ、感受性を豊かにするなど音楽を通して芸術文化を総合的に学習します。
- ・国際社会に通じる、日本と世界の音楽を学習します。

2. 授業のすすめ方

- ・一斉指導、グループ別指導、個別指導、自主的学習を組み合わせた授業を展開します。
- ・各々の生徒に対応した実技テストや鑑賞指導により、その生徒が持つ感受性や表現力の可能性を引出し音楽の持つ美しさやその多様性を感じさせることを目標とします。
- ・ICT教育に際しては、iPadなどを適宜利用します。

3. 学習上の留意点

- ・授業中・鑑賞中・演奏中において聴くことに集中する。
- ・自ら音楽を実践（演奏）できること。
- ・積極的に授業に参加すること。
- ・忘れ物はしない。
- ・遅刻・欠席はできるだけしない。
- ・音楽室の備品を大切に扱う。

4. 副教材・参考書

- ・単元に合わせたプリントを配布・配信します。
- ・合唱祭を中心に「Joyful Sounds」を使用します。

5. 評価方法

実技テスト・鑑賞感想文・楽典テスト

- ・実技テスト（歌唱・器楽）での積極的な態度と、授業中に指示した音楽的な表現力を発揮できたか。
- ・鑑賞感想文においては、その楽曲の持つ音楽的な工夫や、それらに関わる歴史的な背景に興味を持つことができ、感想を書くことができたか（それに準ずるワークシート等記入）。
- ・楽典においては正しい知識を獲得し、それを鑑賞・実技に生かすことができたか。
- ・授業態度（私語・忘れ物・飲食物の持ち込み・机の落書き・遅刻等）
- ・上記の総合評価が成績となります。

各学期100点満点で採点し、実技テスト60点+平常点40点とします。

年度末に各学期の評価から学年成績（評定）を5段階評定で算出する。その他に、「知識・技能」「思考・判断・表現」及び「主体的に学習に取り組む態度」の3つによる観点別評価をそれぞれA, B, Cの3段階により評価します。

6. 定期考査

実施しません。

*0.3単位の授業時間においては、歌唱指導、鑑賞にあてる予定です。

指導計画

期	月	単元名・学習項目	評価方法	到達目標
一 学 期	四月	<p>〈 歌唱・合唱 〉</p> <p>○日本大学高校中学校校歌</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌詞の意味を理解する。 ・実技テスト。 <p>○合唱曲</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合唱祭自由曲の選定、またアンケート実施。 ・歌詞の意味を理解する。 ・楽曲の形式と内容を理解する。 ・日本語の発音と発声法。 ・パートごとの音取り 	<p>各学期 100 点満点で採点する。</p> <p>〈 歌唱・合唱 〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実技テスト <p>〈 鑑賞 〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞レポートの提出 ・感想文の提出 	<p>〈 歌唱・合唱 〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音程が正確に取れる (記譜通りに歌える)。 ・歌詞を正確に歌える (外国語の場合は発音にも注意している)。 ・曲想に合った歌唱表現をしている。 ・大きな声で歌える。 ・自分のパート (声部) を明確に歌え、役割を理解できる。 ・自主的・主体的に合唱に参加し、音楽表現を高めることができる。
	五月	<p>〈 鑑賞 〉</p> <p>○「春」 (ヴィヴァルディ作曲)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・弦楽奏の響きの美しさを感じ取る。 ・バロック時代の音楽の特徴を知る。 ・感想文。 		
	六月	<p>〈 器楽 〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鍵盤楽器、打楽器、弦楽器それぞれの音色を理解する。 ・音楽記号について。 ・五線譜の読み方。 		
	七月	<p>〈 器楽 〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鍵盤楽器、打楽器、弦楽器それぞれの音色を理解する。 ・音楽記号について。 ・五線譜の読み方。 		
二 学 期	九月	<p>〈 合唱 〉 (音楽コンクールに向けて)</p> <p>○各クラス合唱曲「Joyful Sounds」から選定。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各パートの練習をする。 ・楽譜に書かれている様々な記号などを理解し、楽曲にあった歌い方を工夫する。 ・パート (声部) の役割と練習。 ・曲の構成を理解する。 	<p>〈 器楽 〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実技テスト (予定) <p>(楽典)</p> <p>確認テスト (予定)</p>	<p>〈 器楽 〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記譜通りに演奏することができる。 ・興味・関心を持って取り組むことができる。 <p>(楽典)</p> <p>作品の中の記譜・音楽用語を正しく理解し、鑑賞・実技に生かすことができる。</p>
	十月	<p>〈 鑑賞 〉</p> <p>○「魔王」 (シューベルト作曲)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4人の登場人物が歌い分けられているのを感じることができる。 ・伴奏が何を表しているのか感じることができる。 ・作曲者とその時代について。 ・感想文。 		
	十一月	<p>〈 器楽 〉</p> <p>○リズムアンサンブル (予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音価とリズムを理解する。 ・アンサンブル ・実技テスト (予定) 		
	十二月	<p>〈 器楽 〉</p> <p>○リズムアンサンブル (予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音価とリズムを理解する。 ・アンサンブル ・実技テスト (予定) 		
三 学 期	一月	<p>〈 歌唱 〉</p> <p>○「浜辺の歌」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・詩や曲の雰囲気合った声で、言葉を大切に歌う。 ・日本の歌が持つ素晴らしさを感じ取る。 ・実技テスト。 	<p>〈 平常点 〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・出席状況等 	
	二月	<p>〈 鑑賞 〉</p> <p>○雅楽「平調 越天楽」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本に古くから伝わる音楽の特徴を知る。 ・楽曲の構成と内容を理解する。 ・感想文。 		
	三月	<p>〈 鑑賞 〉</p> <p>○雅楽「平調 越天楽」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本に古くから伝わる音楽の特徴を知る。 ・楽曲の構成と内容を理解する。 ・感想文。 		

※シラバスの内容 (時間や事項) については、理解度やその他の都合により省略や前後することもありうる。